

# 癸気揚揚！

～失敗することの大切さ～

第3号

私たちは、この世に生を受けてから年齢とともに自分の視野を広げていきます。例えば、家族という小さな社会から、小学校、中学校、高等学校、地域、そして、日本、世界に至るまで皆さんの生きる社会は、無限大に広がっていきます。

この間、大切なことは、知らなかったことを知る機会でもあり同時に、とげとげしい原石であった自分の価値が様々な価値とぶつかり合うことで大人としての感性が磨かれていくということです。

特に、成長過程の途中にある高校生期は、常に新しい発見と新しいことへの挑戦の連続となり、成功が無くても成長がある大切な時期となります。

この成長には、失敗から学ぶことが多く、人としての思いやりや優しさを身に付けるためにも、つまずいたり、失敗したり、転んだりする経験で人の深みとなる優しさが身につくに違いありません。

私もそうですが、つらい時は人のやさしさに恋しくなります。同じ経験をしている人からの励ましの言葉は、共感してくれることが多く、安心して、不安や悩みを伝えることができます。

私はこの経験からも、人の成長とは、大きな成果を得た時ではなく、テストの結果が悪かった時、試合に負けてしまった時、友達を怒らせてしまった時など、失敗した時だからこそ、そこから這い上がる、起き上がる、辛い時ほど歯を食いしばってでも前を向くことで大人の感性が磨かれ、人に寄り添う優しさや人間力が成長の証(あかし)になるのではないかと思います。

思い出してください。皆さんが1歳、2歳の時、お父さんやお母さんは、よちよち歩きの皆さんに対して、転ばないように歩くことを教えることなく、転んだ時に、泣かないでどうやったら起き上がるかができるかを教えてくれたはずです。

また、あのイチロー選手でさえ、4,000本のヒットの陰には8,000回以上の三振やエラーの失敗があり、その反省を生かすことで年間200本を超えるヒットが打てたと聞いています。

私が校長として新田生に伝えたいことは、失敗を恐れず、失敗から学ぶことの大切さを、この高校生活の中で身に付けてほしいことです。

失敗って面白い！きっと皆さんなら、相手の心にそっと寄り添える優しさをもった大人になれると期待しています！頑張れ新田生！

令和5年6月21日

学校長